

南 砂 (ミナミ マサゴ)
読売新聞東京本社編集委員

最 終 学 歴	1979年3月日本医科大学医学部卒業
職歴、活動歴等	ベルギー国立ゲント大学研究生、日本医科大学助手（精神医学専攻、在留邦人、在日外国人の精神保健および適応問題をテーマに研究）を経て1985年読売新聞社入社。同社編集局解説部、電波報道部などで、医療、福祉、教育などをテーマとして報道、解説に従事。2000年3月東京本社解説部次長、2007年4月より現職。1989～91年、NTV系「読売新聞ニュース」、2000～01年、「読売社会保障ニュース」の、キャスターをつとめた。
主な公職在任歴	2001年～ 厚生労働省厚生科学審議会委員 2001年～ 東京都社会福祉審議会委員 2001年～ 東京都保健医療計画推進協議会委員 2001～04年 内閣府総合技術科学会議専門委員 2005年～ 文部科学省科学技術・学術審議会専門委員 2005年～ 第3次対がん総合戦略研究事業にかかる企画運営委員会委員 2005年～ 国立成育医療センター顧問会議委員 2008年 社会保障国民会議委員（内閣官房） 2008年～ 内閣府自殺防止対策推進会議委員 2008年～ 東京都医療審議会委員 2009年～ 日本学術会議外部評価委員会委員
大学での講師歴	国際医療福祉大学非常勤講師 東北福祉大学非常勤講師 東海大学医学部非常勤講師 など
著書	「時代を拓いた女性たち」共著 中央公論新社刊 「今後の終末期医療の在り方」共著 中央法規出版刊 「司法精神医学第2巻・刑事事件と精神鑑定」共著中山書店刊 など